

医療体制整備部会からの報告 資料3

令和元年度の重点施策

歩くことで健康づくりを推進し、
「医療費抑制 1億円」を目指す。

メニュー	概要	現況値	目標値
拡充 “歩得”健康商品券	「歩く」ことを中心とした健康づくりを推進する。歩いた歩数に応じてポイントが貯まり、貯まったポイントに応じて市内で使える商品券と交換できる。 平成31年度から在勤者も参加可能とする。	参加者は3,290名となっており、事業所単位の申し込みは13事業所となっている。参加者歩数は、4～8月で平均8,029歩となっている。(昨年度7354歩)	“歩得”参加者 H30 2,345人 ⇒ 3,500人 参加者全員の歩数 昨年度より プラス 2,000歩
拡充 家庭看護力の強化	中学3年生までの医療費助成（外来が3割から1割）を行ったが、小児医療費の適正化を推進するため、子育て中の親を対象とした講習会を行い、家庭看護力の強化を図る。	親育ち応援プログラムを取り入れ、子どもの異変と受診のタイミングを学ぶ見診る子育てスキルアップ講座を年間6回開催（9月末時点受講者39人）	講習会を年に 6回 開催する。
糖尿病性腎症重症化予防事業	・糖尿病性腎症による透析導入者を減らすことを目的として、健診受診者及び糖尿病治療中断者への受診勧奨を実施。 吉備医師会と連携し、支援体制の構築を図る。	・受診勧奨は、今年度、5名の対象者に実施（9月末現在） ・更に医療機関と連携した重症化予防プログラムの開始に向け、吉備医師会と最終調整中（今年度、医師への説明会を2回開催）	受診勧奨後の受診率 80%

令和2年度の重点施策

歩くことで健康づくりを推進し、
「医療費抑制 1 億円」 を目指すとともに、
「がん死亡率 20%削減」 を達成する。

メニュー	概要	目標値
“歩得”健康商品券	「歩く」ことを中心とした健康づくりを推進する。歩いた歩数に応じてポイントが貯まり、貯まったポイントに応じて市内で使える商品券と交換できる。	“歩得”参加者 R1 3,300人 ⇒ 3,500人 参加者の 平均歩数 8,000歩以上
拡充 糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症による透析導入者を減らすことを目的として、吉備医師会と連携し、特定健診受診により判明したハイリスク者に対して、受診勧奨を実施するとともに、継続した保健指導が受診できるよう支援する。	受診勧奨後の 受診率 100%
新規 がん検診事業	がんの早期発見・早期治療に有効ながん検診について、検診の必要性の啓発及び受診しやすい検診体制の整備を構築し、受診率向上を図る。 5がん検診：胃がん・大腸がん・肺がん 子宮がん・乳がん	5がん検診 受診者数 5%アップ